

1960～1980年代における図書館法関係文献の特徴

藁袋 秀樹（筑波大学名誉教授）

1. 研究の目的と方法

（1）研究の背景

- ・ 図書館法制定後の70年間の前半期（1950～1988）と後半期（1989～2020）
- ・ 前半期：①図書館制定直後の文部省関係者による解説（1950～1954）、②図書館法改正運動（1951～1961）、③民間の図書館関係者・団体による解説・分析（1961～1988）
- ・ 後半期：日図協の『図書館雑誌』における解説の取り組み（1989）と解説書『図書館法を読む』（1990）、『図書館法と現代の図書館』（2001）の出版

（2）研究の目的と方法

- ・ 本研究の目的は、前半期の③に当たる約30年間（1960～1980年代）の団体・個人による図書館法関係文献を収集し、その特徴を明らかにすることである。そのため、文献の種類と主題を分析する。

2. 団体・個人から見た文献の概要

（1）日本図書館協会

- ・ 『図書館ハンドブック』増補版（1960）、第4版（1977）
- ・ 1970年の図書館法改正の動きへの対応（『図書館雑誌』座談会1971）
- ・ 図書館法の諸問題（『現代の図書館』特集1972）、図書館運動（『図書館雑誌』塩見昇1971）
- ・ 1980年の研究者によるシンポジウムと記録の出版（『図書館法研究』1980）

（2）小川剛

- ・ 図書館法成立史資料の収集と成立史のまとめ（『図書館法成立史資料』小川剛・裏田武夫1968、『社会教育』（戦後日本の教育改革10）第7章1971）

（3）図書館問題研究会等

- ・ 図問研学校での講演と記録の刊行（清水正三1972、石井敦1975、小川剛1985）
- ・ 理論集会での発表と『図書館評論』への掲載（清水正三1977、宍戸伴久1979）
- ・ その他（『月刊社会教育』小川剛1977、『季刊としょかん批評』住谷雄幸1983）

（4）法学関係の雑誌・全集

- ・ 『法律時報』（堀部政男、宍戸1980）、『季刊教育法』（裏田1980）、『現代行政法学全集』稗貫俊文（1986）

（5）その他

- ・ 小野則秋（1963、『図書館雑誌』1969）、森耕一（『芸亭』1971）、渡辺重夫（『図書館学会年報』1984）
- ・ 自治体職員（『図書館雑誌』1961）

3. 文献の特徴

（1）取り組みの主体・種類

- ・ 日図協と文部省、公共図書館・社会教育・地方自治、『成立史資料』『図書館法研究』の活用

（2）記事の主題

- ・ 解説書、個別テーマ（成立史、法改正、図書館運動、図書館政策、図書館の自由、図書館職員）

（3）取り組みの動機

- ・ 日図協による1960年代の図書館法改正運動、1970年代以後の外部からの図書館法改正の動き、図書館法30周年（1980年）、1980年前後の図書館事業基本法に関する取り組み

（4）図書館法の研究と学習に対する姿勢

- ・ 平易または詳細な解説書の不在、図書館法の学習・研究の不足、図書館法専門家・研究者の不在

日本生涯教育学会第41回大会（オンライン開催）

発表要旨集録

2020. 11. 14（土）

共催
日本生涯教育学会
国立教育政策研究所